

演出家ノート

2017年『夢から醒めた夢』の稽古場より



「作品を自分の体に
通して表現する、
それが役者。」



「居て捨てて語る
無になって魅力を出す。」

「主人公ピコと、幽霊のマコが初めて出会うシーンでは、人間と幽霊の出会いの感動を。」



(原作の赤川次郎さんも稽古場へ)



「味芝居にしない。
字面ではなく、
本の中身を伝え、
そこに自分の心に乗せる。」



「“言葉”を深く体の中に入れ、“言葉”を自分の中に響かせて相手に渡す。
俳優とは観客に語りかけるのが仕事。」